

- 郷土について考え、郷土への愛着を深めることを目的に、「走る町政バス」を実施し、町民23名が参加
- 地域住民による環境整備であるロードプレーヤー事業(8ヶ所)とリバープレーヤー事業(1ヶ所)を支援するため、県事業を利用して実施  
ハッチョウトンボ群生地で、住民ボランティアが環境整備を実施
- めい想の森地内で全日空による大学生協と町内ボランティア団体等が共同で間伐に取り組み、また笹池草地ではキンビールと同団体が植栽等森林整備を実施
- 外郭団体の運営と自立について、シルバー人材センター事務局職員の臨時職員派遣を21年度より廃止

## 6 公正の確保と透明性の向上関係

- 財政の健全化比率を20年10月に広報やおつ及び町ホームページで公表
- 行政改革推進状況の公表について、19年度の進捗状況を20年5月に広報やおつ及び町ホームページで公表

## 7 議会改革関係

- 本会議の公表について、21年3月定例議会(一般質問)から、ケーブルテレビの生中継を開始

## 8 経費の節減合理化等財政の健全化関係

- 町債等の繰上償還及び借換等財政負担の軽減について、町債の借入を極力抑制し、地方債残高の削減を図る  
19年度残高 4,833,599千円  
20年度残高見込 4,525,745千円(一般会計)  
水道企業会計において、経営健全化を図るため、企業債の繰上償還を実施
- 公有財産の有効活用について、不要地の払い下げを行う  
20年度 6件
- 自庁処理により入学通知書、学齢簿を製作し、委託料を削減
- 植物性天ぷら油を精製処理し、バイオ燃料として給食配送車に利用
- B&Gプール温水ボイラー設置により、燃料費と維持管理費を削減
- パソコンのソフトウェア製品を地域ライセンス契約により価格を低減
- 固定資産税の宅地評価において、市街地宅地評価法の状況類似地域の統合により、鑑定評価費用を削減
- 地籍調査実施区域の用地買収において、地籍調査資料により測量委託経費を削減
- 介護予防一般高齢者の運動機能向上事業において、統合型スポーツクラブとの連携により、運動教室の経費を削減
- 人件費の削減について、経常人件費を前年度対比2.3%削減
- 財政状況の分かりやすい公表について、19年度バランスシート(貸借対照表)を作成し、広報やおつで公表



バイオ燃料給食配送車

## 9 会館等公共施設関係

- 老人ホームの管理運営について、21年度にエレベーターの設置や浴室、居室などの居住環境の改善を図り、介護サービス利用を考慮しながら管理運用を行う
- 福地小学校の統合において、地区、保護者懇談会、地区説明会を順次開催し、22年4月1日をもって久田見小学校に統合する旨を提示し理解を求めた
- 公共施設の耐震化について、本庁舎に自家発電装置の設置を20年度に予算化し、21年度に施工
- 水道施設の耐震化について、21年度に須賀浄水場管理棟の耐震化を予算化



耐震化予定の須賀浄水場管理棟

## 10 公共工事関係

- 公共工事のコスト縮減について、各現場に適切な工法の採用や、二次製品の積極的な利用により、コスト縮減を図る

※詳細は、町ホームページ(URL:<http://www.town.yaotsu.lg.jp>)の「第3次行政改革大綱の進捗状況」に掲載していますのでご覧ください。また、「第3次行政改革大綱」も同ホームページに掲載しています。